



SS KILLERS 2025 RIDING SPORT CUP

競技規則書 レギュレーション

更新 2025/4/21

1 競技会名称

SS KILLERS 2025 RIDING SPORT CUP

2 主催、後援、協賛

主催 / 桶川スポーツランド (MotoUP 桶川スポーツランド)

〒363-0027 埼玉県桶川市川田谷上野 7921-3 TEL.090-3234-8888 web <https://okspo.jp>

後援 / RIDING SPORT

協賛 / 各戦ごとに大会公式プログラムにて発表

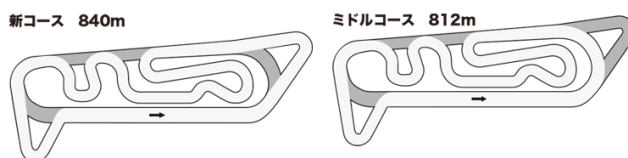
SS KILLERS 2025 RIDING SPORT CUP 開催概要及び目的

予選タイムアタックによりグリッドを決定し、8~12周のスプリント方式にて決勝レースを行う二輪競技を主とした大会。2024年は全4戦で争う。RIDING SPORT CUPとして開催される。本大会は、社会全体にモータースポーツが認知されるとともに、ライダーの健全な発展を願うべくモータースポーツ振興の一端に貢献することを目的とする。

3 大会組織

- 競技長 鎌田 悟
- コース長 今野 由寛 / 川島 和明
- 計時長 目黒 正顕
- 救護 竹口 謙太郎 (ももたろう鍼灸整骨院)
- 事務局長 松崎彩子
- MC 菅野 大輔 / 芳根 大輝
- 写真撮影 沢野 将 ※その他のオフィシャルは当日発表

使用コースレイアウト



第1戦、第3戦はロングコース、
第2戦、第4戦はミドルコースで行う

4 開催日程と開催クラス

第1戦 5/25 (日) ロングコース

第2戦 7/20 (日) ミドルコース

第3戦 9/21 (日) ロングコース

第4戦 11/23 (日) ミドルコース

桶川スポーツランド 公式ロゴ



桶川スポーツランドの公式ロゴを装備品、マシンに使用する場合は、桶川スポーツランド事務局及びオンラインショップにて販売しているものに限りに自由に貼付し使用できます。個人やショップ単位での複製使用は禁止です。

SS KILLERS 大会公式ロゴ



SS KILLERS の公式ロゴは大会参加者、関係者が自己サイトやブログ、企画書等にて自由に使用できます。色の変更はできません。(モノクロ可)

★販売品やそれに準ずる商用利用や、無断使用はご遠慮ください。ロゴの分割や二次加工はしないでください。

5 開催クラス

Class Title >>>	Class Details >>>	Level-based classes >>>	🏆 シリーズ表彰対象クラス
multi2	2st250cc以上・2気筒以上の市販ロードバイク。	E ロングコース 43 秒台 (ミドル 41 秒台) 以上速く走行出来る者 MID ロングコース44秒台 (ミドル42秒台) 以上ラップタイムのかかる者	🏆
multi4-250	4st250cc以下・2気筒以上の市販ロードバイク。	E ロングコース 44 秒台 (ミドル 42 秒台) 以上速く走行出来る者 MID ロングコース45秒台 (ミドル43秒台) 以上ラップタイムのかかる者	
multi4-400	4st400cc以下の車両の市販ロードバイク。	E ロングコース 43 秒台 (ミドル 41 秒台) 以上速く走行出来る者 MID ロングコース44秒台 (ミドル42秒台) 以上ラップタイムのかかる者	
single4	4st250cc以下・単気筒の市販ロードバイク。	E ロングコース 44 秒台 (ミドル 42 秒台) 以上速く走行出来る者 MID ロングコース45秒台 (ミドル43秒台) 以上ラップタイムのかかる者	
	HONDA CBR250R ワンメイクレース。 車両規則、グランドチャンピオンシップ参戦資格などについてはHRCのサイトを参照の事。		
PROGRESS	SS KILLERS 内のモトード以外のクラスに該当するロードバイク。	ロングコース 46~47 秒台 (ミドル 44~45 秒台) のラップタイムで走行出来る者。 事前練習で目安タイムを上回る者は上位クラスにエントリーのこと。 また、目安タイムを上回って優勝した者は次戦より自動昇格とする。	
MOTARD	2st101cc/4st175cc以上のレーサーモトード車両。 モトード及びSPクラスは台数バランスを見て混走別表彰とする。	SE ロングコース 43.4秒台 (ミドル 41.4秒台) 以上速く走行出来る者 E ロングコース43.5~45秒台 (ミドル41.5~43秒台) のタイムで走行できる者 MID ロングコース46秒台(ミドル44秒台)以上ラップタイムのかかる者	
MOTARD-SP	公道走行可能タイヤ(R11含む)を装着した、400cc以下の市販モトードクラス。2st85cc/4st150ccのMX・EDレーサー車両の参加は可。なおレインタイヤの使用は可。モトード及びSPクラスは台数バランスを見て混走別表彰とする。	E ロングコース45秒台 (ミドル43秒台) 以上速く走行できる者 MID ロングコース46秒台(ミドル44秒台)以上ラップタイムのかかる者	
novice	SS KILLERS内のいずれかのクラスに該当する車両。 予選にてタイムと台数バランスを見てクラス分けをし決勝を行う。同一車両を使っての他クラスとのWエントリーは不可。なお、当日発表される各クラスの基準タイムを決勝中に上回った場合、該当周回に+5秒のペナルティーが科される。 事前練習で目安タイムを上回る者は上位クラスにエントリーのこと。また、ノビスAの目安タイムを上回って優勝した者は次戦より自動昇格とする。	A ロングコース 48~49 秒台 (ミドル 46~47 秒台) B ロングコース49~50秒台(ミドル47~48秒台) C ロングコース50秒台(ミドル48秒台)以上	
Exhibition	上記にないクラスでも開催の要望があり一定以上の参加台数 (10 台程度) が見込める場合、特別にクラスを開催する場合がある。 エキシビジョンレース希望はレース開催 1 か月以上前までにスタッフにご相談ください。 → 第 1 戦・第 3 戦は VespaGP をエキシビジョンで開催予定		

上記加え、スプリントレース参加者以外でも楽しめる走行会枠や、90分耐久レースなどを開催。
 詳細は各大会の告知ページをご参照ください。

6 参加資格

常識を持ち、スポーツマンシップにのっとった行動ができるもの。SS KILLERS の開催目的や規則を熟知し順守できる者。
ライディングスポーツメンバーズ、桶川スポーツランドスポーツ安全保険のいずれかに加入しているもの。
18歳未満の者は親権者の参加同意書が必要。なお参加にあたっては当該コースでの事前練習を一回以上行ってからエントリーすること。

7 参加者の遵守事項

すべての参加者は、競技開催中はオフィシャルの指示に従うこと。

- ・SS KILLERS 競技規則書を熟読している事。
- ・競技中の飲酒はしない。コースからの行き帰りにも飲酒運転をしないこと。
- ・競技中に薬品等に依存し精神状態をとりつくろってはならない。
- ・指定された場所以外での喫煙及び火気を伴う器具を使用してはならない。
- ・参加者の健康状態に異常がある場合は参加してはならない。

8 参加申し込み方法

桶川スポーツランドでの直接申し込み、現金書留での郵送、HPからのネットエントリーのいずれかとする。

エントリーは各レース1ヶ月前～開催一週間前までとし、それ以降のエントリーは一切受け付けない。いずれも大会が指定する有効な保険に加入していなければならない。

(保険に関しては19 保険制度参照) ※ネットエントリーに関してはHPをご確認ください。

9 エントリーフィー (参加料金)

■マイポルダー有 (¥7,700) マイポルダー無し (¥8,700)

※ダブルエントリーの場合合計金額から1,000円控除。

※一人のライダーが同時に3クラス以上のレースにエントリーする事は、安全面を考慮し認められない。

※2024年のシリーズランキングにより割引となる場合がある。詳細はランキングカードの裏面に記載。

※締め切りを過ぎた後のエントリーフィー支払いは、レイトフィーとして1,000円が加算される。

(注: 締切日が1週間前の日曜日なので、日曜にネットエントリーをした場合は月曜午前の着金まで通常料金)

※エントリー手続きのみを済ませ参加料を支払っていない状態で締切後にキャンセルをした場合、次回以降のエントリーが制限される場合がある。

【遠征割】

関東地方(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)の1都6県以外からのエントリーは、

エントリーフィーから2,000円引きとなる。

※上記の判断はあくまで参加者本人のエントリー時点での居住地を基準とし、住所の虚偽等が見受けられた場合は当サービス自体を一切廃止とする。

10 クラスわけ

当日の出走台数がフルグリットを超える場合、決勝は第一、第二決勝にクラス分けをしてレースを行う場合がある。

・21台以下…1クラス ・22～39台…2クラス(第一、第二決勝)

台数の片寄りを防ぐ為、エントリー台数が22～28台の場合は予選上位65%を第一決勝、

それ以外を第二決勝としてレースを行う。・29～39台の場合は、予選上位18台を第一決勝とし、残りが第二決勝となる。

なお、第二決勝の上位3名のライダーには、第一決勝への出走権が与えられる。(任意参加)

ノービスクラスに関しては上記の台数に関わらず、当日の予選タイムと台数のバランスを考慮してクラス分けが行われる。

11 不成立

各クラスのエントリーが5台以下の場合当該レースは一旦不成立扱いとなる。これは開催1週間前のエントリー台数での判断となり、開催当日の台数ではない。不成立となったクラスは中止(エントリーフィー返金)もしくはその他のクラスに混走となり、参加者と協議の上で決定する。

12 賞典およびポイント

賞典およびポイント対象は各クラス決勝出走台数※1をもとに下記のように制限し、決勝完走者※2に与えられる。

※1 決勝出走台数＝レーススタート以降の出走

※2 決勝完走者＝優勝者の周回数の75%（小数点以下切り捨て）以上を走行した者
なおシリーズ中のゼッケン No. およびエントリー名の変更は原則として認められず、ポイントが加算されない場合がある。

表彰

- ・ 3台以下……1位のみ
- ・ 4～5台……2位
- ・ 6台～11台まで……3位
- ・ 12台以上……6位

ごくまれに賞典外の選手が出場することがあるが、その場合賞典外選手は出走台数に含まずに賞典・ポイントを割り当てる。例) 決勝出走台数12台のレースで、賞典外の選手が3名いた場合12台から3台差し引き台数を9台と数える。つまり3位までが表彰される。

13 シリーズ表彰

シリーズ表彰対象クラスは3位までが年間表彰され、翌年の走行料金やエントリーフィーが優遇される。

※5台以下の決勝レースがシリーズ中に2回以上あったクラスは一位の選手のみ表彰される。2台以下の決勝がシリーズ中に2回以上あったクラスのシリーズ表彰は行わない。最終戦では1.25倍のポイントが加算される。

★シリーズランキングは、年間で獲得したポイントの合計により、最多ポイント獲得者をシリーズチャンピオンとする。賞典外選手が出場した場合は、第12章-賞典と同様に扱いポイントを振り当てる。

同ポイントの場合は

- 1). 優勝回数が多い者
- 2). 上位獲得回数が多い者
- 3). 最終戦上位の者
- 4). 最終戦に近い大会で上位の者
- 5). 予選上位獲得回数が多い者
- 6). 参戦回数が多い者
- 7). 前年のランキング上位の者

の順で順位を決定する。

上記でも決定出来ない場合は、MFJ国内競技規則に準ずる。

14 再車検

レース終了後、入賞車両は一定時間保管され、ランダムに再車検を行うクラスを決定する場合がある。

呼び出しのあったクラスの該当ライダーは、所定の場所に集合する事。

再車検により違反が見つかった場合は、当該レースを失格とし、以降のレースの出場に関しても制限される場合がある。

15 抗議

抗議できる権利を有しているのはライダーであり、他者からの抗議は一切受け付けない。抗議する場合はいかなる場合でも抗議保証金10,000円を添えて大会競技長に提出すること。抗議保証金は大会競技長の判断により返還される場合もある。

16 ペナルティー

ライダー、ピットクルーは大会規則、大会役員の指示に従い違反行為のあった場合に課せられたペナルティーに関しては抗議できない。その他の記載されていない事柄に関しても大会役員の判断によりペナルティーとなることがある。すべての違反行為については競技長の判断を最優先とする。

種類	ペナルティー
フラッグ無視※1	厳重注意またはタイムの加算または失格
ジャンプスタート(フライング)※2	ライドスルー or 競技結果30秒加算
ショートカット路の使用	当該決勝最後尾スタート
ランオフからの有利/危険なコース復帰	予選→当該ラップタイム抹消 決勝→競技結果30秒加算
ストレート外側白線カット	厳重注意またはライドスルー
危険行為	厳重注意またはタイムの加算または失格
ノービス基準タイム超過	該当周回に5秒加算
ライダーの過失による赤旗中断	予選→ラップタイム抹消 決勝→競技結果30秒加算

※1 例：黄旗区間の罰則

・ 追い越し＝3ポジション加算

・ コースアウトまたは転倒＝予選→1秒加算 決勝→1周以上の減算

・ 事故＝失格および次戦出場停止

◆ダブルチェッカーの罰則

・ 厳重注意または3ポジション加算。重大事故＝失格及び次戦出場停止。

※2 レッドシグナルが点灯して消灯するまでの間にマシンが前進した場合、ライドスルーもしくは競技結果に30秒加算のペナルティーを課す。ライドスルーボードにて指示されたゼッケンのライダーは安全なスピード(1速/30km以内)でピットレーンを通る事。

この際に速度超過と判断された場合ライドスルーが繰り返される。ライドスルーボードが3回掲示されても従わない・及び速度違反により3回のライドスルーが実行されたと認められない場合は失格となる。

なお、左記のペナルティーに該当する者のコースレコードは認定されない場合がある。

■ポイント加算制限

順位	台数	6台以上	5台以下
1位		20	10
2位		15	7.5
3位		12	6
4位		10	5
5位		8	4
6位		6	
7位		4	
8位		3	
9位		2	
10位		1	

17 レースの中断、再開

やむを得ない事情により競技の続行が危険であると大会役員が判断した場合、赤旗及びレッドシグナルの掲示により走行が停止される。

- ・赤旗中断となったレースがスタートから3周未満の場合、当該レースは無効とされ、車両確認に要する時間を設けたうえ周回数を2/3に減算し再レースが行われる。このレースのグリッドは予選結果に基づき全ライダーが参加出来る。罰則も消滅する。

- ・スタートから3周以上2/3未満(小数点以下切り捨て)の周回数を消化していた場合は、予定周回数から赤旗掲示された時点(半数以上のライダーが通過した時点)での周回数を引いた残りの周回数で第2レースを行う。なおこのレースのグリッドは第1レースの結果に基づき、第1レースでトップの周回数の75%以上を走行していたライダーだけが再スタート出来る。第1レースで消化していない罰則があった場合それが適用される。最終結果は各レースの周回数を合計し、最多周回数のライダーが優勝者となる。同一周回の場合は最終レース結果が優先される。

- ・再レースが不可能な場合は予選もしくは第1レースの順位を最終結果とし、ハーフポイントが与えられる。
- ・予定周回数の2/3以上を半数以上のライダーが消化していた場合、当該レースは成立したものとす。

18 主催者側の権限

主催者は理由を明かすことなく参加を拒否できる。大会に関する参加者、同業者及び肖像権や音声、写真、映像等に関する権限は主催者にあるものとし第三者に対してその使用を許可できる。

19 保険制度

参加者は桶川スポーツ安全保険もしくはライディングスポーツメンバーズに加入していなくてはならない。

上記の保険は、桶川スポーツランド・チームライディングスポーツが設立した保険団体であり、『(財)スポーツ安全協会』が運営する『スポーツ安全保険』に加入し、登録競技者、イベント参加者の不慮の事故に対して補償するものとし、当レースエントリー時には加入が必須となる。レース当日怪我を負った場合は救護室にて手当を受け、事務局で事故申請書を受け取ること。救護室での当日の処置記録が無い場合、原則として保険の申請は出来ないものとする。

桶川スポーツ安全保険及びライディングスポーツメンバーズの詳細、加入方法、補償額などについては別紙参照の事。

20 中止

天候などにより中止になる場合は事務手数料1,000円を引いた金額を返金する(チャンピオンは除く)。ただし中止の決定は主催者がするものとし、第三者は決定できない。(原則として当日現地で発表となる)

21 参加者の装備

■必須

- ・フルフェイスヘルメット……JIS T8133・2015 2種以上のものか、それ以上の安全性を満たしているもの。(MFJ/FIM/SNELL 規格推奨)
- ・ヘルメットリムーバー……市販のバイクヘルメット用であればメーカー自由。
- ・レーシングスーツ……MFJ公認である事。(12歳以下除く)
- ・レーシンググローブ、ブーツ……皮製でプロテクション機能が備わっているおり、いかなる体勢でもレーシングスーツと50mm以上重なり合うもの。
- ・脊椎パッド…レーシングスーツの下に装着し脊柱保護に効果的なもの。ただしエアバッグ一体式として装備がある場合は免除となる。(CE-EN1621 適合品)

■推奨

- ・チェストプロテクター・エアバッグシステム……装着を推奨。コースや年齢によって必須の場合がある為注意する事。なお転倒によりエアバッグが開いた状態での競技続行は危険なため、ピットインし改善したのちに再コースインすること。

上記適合品であっても著しい破損や汚損がある場合は使用を認めない場合がある。その他ウェアラブル端末や安全な走行に支障をきたす恐れのある上着や装飾品などは不可。

22 使用燃料

一般のガソリンスタンドで購入出来る無鉛ガソリンである事。AVガス、レースガス等の一般市販車以外への使用を目的とした燃料の使用は禁止。2st車両に限り2stオイルの混合を認める。ガソリン及びオイルには、オクタン価や燃焼効率を高める添加剤や起爆剤などを加えてはならない。また燃料を故意に冷却する行為は禁止とする。

23 車両規定

- ・エンジンとフレームは、同一車種のものであること。(年式違いのパーツ流用可。)
 - ・2st101cc 以上、4st156cc 以上の車両である事。ただし CRF150R や YZ85 等、スーパーモト S3 該当車両の参加を認める。純正品廃盤の車両に限り、+ 1mm までのオーバーサイズピストンの使用を認める。
 - ・キャブレター仕様車はガソリンキャッチタンクを取り付ける事。(FCR など取付け不可なキャブは免除)
 - ・オイルブリーザーホースが大気開放されている場合は、キャッチタンクやエアクリーナー BOX を介し、吸気循環方式を取る事。またエアクリーナー BOX 下部に排出穴がある場合は閉止すること。(クローズドブリーザーシステム)
 - ・オイルフィルターキャップ、チェックボルト、ドレンボルトには有効なワイヤーロックを施す事。
- また、ブレーキまわりに関しても、ボルトやパッドピンにワイヤリングを施すことを推奨する。
- ・ラジエーターにクーラントが入っている場合は、水もしくは水とアルコールの化合物に交換しておく事。(ワコーズヒートブロック、ケミテック PG55 TA/GT など)
 - ・ハンドルを左右一杯にきった時に、タンクやカウルに指を挟まない様に間隔を保持する事。また、ハンドルにはバーエンドか非貫通タイプのグリップを取り付ける事。
 - ・バックミラーは危険なので必ず取り外す事。また、リアキャリア等スポーツ走行に必要なないパーツも取り外す事。
 - ・車両にカメラなどのアクセサリパーツを取り付ける場合は、走行中に脱落のなきようワイヤリングなどで二重に固定する事。
 - ・ライトやウインカー等の保安部品は取り外すか、ビニールテープにてテーピングする事。
 - ・F・R のスプロケットガードが純正で取り付けられている車両は取り外さない事。また、ドリブン (R) スプロケット有車両の下側には、スプロケットガードが強固に装着されていることが望ましい。
 - ・ブレーキレバー・ペダル・ステップやステー等は安全上先端が中空でなく、丸みを持たせる事。
 - ・使用されていないステーや突起物は、取り外すか先端をウエス等で保護する事。
 - ・出荷時の外観を著しく損なわれていない事。(ツッパリテール等は不可) また、シートカウル及びシートが付いていない車両では走行できない。シートカウルはリアタイヤ後端より大きく飛び出していない事。
 - ・4st ロードバイクに関しては、故障時のオイル漏れに備えアングートレー (カウル) を装着している事が望ましい。また、転倒時のエンジン損傷によるオイル飛散防止のため、スライダークォーン、クラッチケースカバーガード (二次カバー)、ハンドルストッパー切れ角制限パーツのいずれかを必ず装着する事。
 - ・走行音量は、全車 99.0db 以下とする。ただし、測定環境等による +1.0db の誤差は許容範囲とする。測定時の気温が 10°C を下回る場合はさらに +1db までとする。測定方法としては、ストレート脇のコンクリートウォールに測定器を設置し、実際にマシンが通過した際の音量を確認する。モトード車両に関してはスーパーモト技術規則に沿って 2m-max 法にて音量測定を行う。その際の最大音量は 112.0db とし、許容誤差は +2.0db までとする。
 - ・自走での参加の場合は道交法に則った車両であり、タイヤの摩耗や灯火類の状態などを各自注意する事。
- ※上記の項目はあくまでも最低限の車両規定です。走行前にしっかりとマシンの状態をチェックし、安全な状態である事を確認してからコースインしてください。特にブレーキトラブルやオイル漏れに関しては、他の選手やコース自体にも多大な損害を与える可能性があるので特に注意してください。
- ・ゼッケンはフロントとマシンの両サイド、合計 3～4 箇所に見やすい色、書体を考慮し表示する事。ゼッケンナンバーは全箇所 タテ 12cm 以上の大きさである事。原則として文字色は白か黒であることが望ましい。その他の色で視認性の悪いものは車検で認められない場合があるので事前に確認のこと。CBR250R DREAM CUP 及びエキシビションクラスはそのレギュレーションに沿っている事。ゼッケンは年間通じて同じクラスに参戦する場合固定とし、変更できない。



アッパーカウル + シートカウルの例



前面と両サイドの例



視認性を満たしたデザインゼッケン前後 + 両サイドサポートゼッケンの例

